

## 第 25 回 相模湾ヨットフェスティバルレース 2022

### 帆 走 指 示 書 (Sailing Instructions)

2022 年 8 月 12 日

【開催日】 2022 年 8 月 27 日 (土)

【開催地】 相模湾小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ、秋谷沖周辺

【主 催】 (公財) 日本セーリング連盟 加盟団体 JSAF 外洋三崎

【運 営】 第 25 回 相模湾ヨットフェスティバルレース委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions) の略語表記の意味

[DP] : その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。

RRS 第 2 章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[NP] : その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している。

#### 1. 適用規則

1-1 セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) に定義された規則を適用する。

1-2 ORC Rating Systems2022 が適用されるが、以下を変更する。 [DP]

(1) ORC 規則 201.2 を変更し、搭載する飲料物・燃料の量を制限しない。

1-3 IRC 規則 2022 Part A,B および C が適用されるが、以下を変更する。 [DP]

(1) IRC 規則 2022、22.4.2 は適用しない。したがって、クルー重量制限は適用されない。

ただし、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。

1-4 外洋特別規定 2022-2023 (OSR) 付則 B インシニアレース用特別規定および OSR 国内規定。

#### 2. 競技者への通告

2-1 2022 年 8 月 27 日 (土) 07:00 から 8 月 27 日 (土) 08:00 までの間、SI30 の公式掲示板にて行う。

2-2 海上において本部艇より音声にて通告を行う場合がある。

#### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は 8 月 27 日 (土) 08:00 までに、SI30 の公式掲示板に掲示する。

#### 4. 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

## 5. レーススケジュール

2022年8月27日(土) 09:55 ORC-C 部門、IRC 部門の予告信号を予定

2022年8月27日(土) 10:10 オープン部門の予告信号を予定

2022年8月27日(土) 15:00 全部門のタイムリミット

## 6. 各部門の部門分け

6-1 以下の3部門を設ける。

- ① IRC 部門
- ② ORC-C 部門
- ③ オープン部門

6-2 各部門とも参加艇数によりクラス分けを行う場合がある。

## 7. 部門識別旗 [DP] [NP]

7-1 部門識別旗は以下とする。

- ① IRC 部門 : JSAF レース旗
- ② ORC-C 部門 : JSAF レース旗
- ③ オープン部門 : イエロー

7-2 部門識別旗を掲示する場合はチェックイン時からフィニッシュまたはリタイアするまでデッキより

1.5m以上の高さになるようにバックステイに掲揚すること。バックステイの無い艇は、同等と思われる位置に掲揚すること。

## 8. レースエリア

SI 別紙 1 にレースエリアのおおよその位置を示す。

## 9. レースコース

9-1 艇の帆走すべきコースは次のとおりとする。

(a) 数字旗1が掲揚された時

スタート : 相模湾網代崎沖灯浮標 (通称 : 赤白ブイ) 付近

第1マーク : 城ヶ島南西沖ブイ (時計回り)

第2マーク : 秋谷沖ブイ (時計回り) 北緯 35 度 13 分、東経 139 度 33 分 付近

フィニッシュ : 相模湾網代崎沖灯浮標 (通称 : 赤白ブイ) 付近

距離 : 16 マイル

(b) 数字旗2が掲揚された時

スタート : 相模湾網代崎沖灯浮標 (通称 : 赤白ブイ) 付近

第1マーク : 秋谷沖ブイ (反時計回り) 北緯 35 度 13 分、東経 139 度 33 分 付近

第2マーク : 城ヶ島南西沖ブイ (反時計回り)

フィニッシュ : 相模湾網代崎沖灯浮標 (通称 : 赤白ブイ) 付近

距離 : 16 マイル

9-2 コースを示す数字旗は、SI11 のチェックインを示す L 旗と同時に掲揚される。

また、同じ数字旗を最初の部門のスタート予告信号以前に掲揚し、最後の部門のスタートライン解消とともに降下する。

9-3 亀城礁及び佐島沖定置網の東側を航行してはならない。

## 10. マーク

スタートマーク、フィニッシュマーク、秋谷沖ブイには、黄色円筒形のマークを用いる。

## 11. チェックイン [DP] [NP]

参加艇は、09:40 までに、L 旗を掲揚した本部艇後方から本部艇をスターボードに見て機帆走もしくは機走で通過し、セイルナンバーを掲示し、艇名・乗員数を告げる。

## 12. スタート

### 12-1 スタート信号

スタートは、RRS26 に従い、次の a) および b) の 2 回に分けて行われる。

#### a) ORC-C 部門、IRC 部門

- ・10 分前以前 : オレンジ旗 (スタートライン旗) 掲揚 (音響 1 声)
- ・5 分前/予告信号 : クラス旗として JSAF 外洋三崎バージを掲揚 (音響 1 声)
- ・4 分前/準備信号 : 準備信号旗の掲揚 (音響 1 声)
- ・1 分前 : 準備信号旗の降下 (長音 1 声)
- ・スタート : クラス旗降下 (音響 1 声)

#### b) オープン部門

- ・5 分前/予告信号 : クラス旗としてイエロー旗を掲揚 (音響 1 声)
- ・4 分前/準備信号 : 準備信号旗の掲揚 (音響 1 声)
- ・1 分前 : 準備信号旗の降下 (長音 1 声)
- ・スタート : クラス旗降下と音響信号 1 声 (音響 1 声)

### 12-2 スタート・ライン

スターボード・エンドとなる本部艇のオレンジ旗を掲揚したマストもしくはポールと、ポート・エンドのスタートマークの間とする。

12-3 当該部門のスタート信号後 10 分以内にスタートしなかった艇は、DNS とする。(RRS A4 を変更)  
尚、スタートラインはスタート後 10 分で解消される。

12-4 レース中でない部門の艇は、レース中の艇を避けなければならない。予告信号が発せられた場合、当該部門以外の艇はスタート・ライン付近に近づいてはならない。(RRS 24.1 への追加)

## 13. リコール

### 13-1 個別リコール

リコール艇があった場合、RRS・29.1 により音響 1 声とともに X 旗を掲揚する。

X 旗は、リコール艇が完全に復帰したら降下する。

但し、スタート信号後 4 分を経過した時点でリコール艇が復帰しなくても X 旗を降下する。

個別のリコールがあった場合、レース委員会が VHF72ch にてセール番号/リコール No.を読み上げる。

(RRS29.1 への追加) 但し、これはサービスであり、救済要求の根拠とはならない。

### 13-2 ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、RRS・29.2 により音響 2 声とともに第一代表旗を掲揚する。

新しいスタートの予告信号は、第一代表旗降下（音響信号 1 声）の 1 分後に発せられる。

その他の部門のスタートは順次繰り下げる。

## 14. コースの短縮

14-1 コースの短縮は、回航マークにて行われる。運営艇に S 旗を掲揚し、音響信号（2 音）を発して通告する。

この場合、レース艇は S 旗を掲揚したマストもしくはポールと回航マークの間でフィニッシュすること。

14-2 コース短縮の運営艇は、錨泊していない場合もある。

## 15. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、本部船上の青色旗を掲揚したマストまたはポールと、フィニッシュマークの間とする。

## 16. タイム・リミット

8月27日（土）15:00

タイム・リミットまでにフィニッシュできなかった艇は DNF とする。(RRS 35、A4、A5 の変更)

## 17. レースの成立

各部門のトップ艇のタイム・リミット内でのフィニッシュをもって成立する。

## 18. ペナルティー方式

ペナルティーは次のとおりとする。

全部門において RRS 44.1 を変更し、「2 回転ペナルティー」を「1 回転ペナルティー」に置き換える。

## 19. 抗議と救済要求

19-1 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合には、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該相手艇に対して、「プロテスト」と声を掛け、目立つように赤色旗を掲揚すると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ時に本部艇に告げなければならない。

19-2 抗議または救済要求は、RRS61 および RRS62 に従い、所定の審問要求書に記入しレース本部（陸上本部）に提出しなければならない。

19-3 抗議または救済要求の締め切り時間は、自艇フィニッシュから 90 分後の時刻とする。

19-4 抗議または救済要求の提出は、FAX もしくはメールに代えることができる。ただし、審問の際原本を提出しなければならない。

19-5 審問開始の時間、場所については陸上レース本部公式掲示板に掲示される。

## 20. 順位及び時間修正システム

20-1 IRC 部門：IRC 規則 2022 に基づき、TCC によるタイムオンタイムにより計算する。CT で同順位の艇がある場合は、TCC の数値が小さい方の艇を上位とする。

20-2 ORC-C 部門：艇の所要時間に Time-on-Time All Purpose 係数を所要時間にかけて、その修正時間が低い艇を上位とする。修正時間が同一の場合には、Time-on-Time All Purpose の小さい方の艇を上位とする。

20-3 オープン部門：レース委員会が設定したレーティング方法により順位を算出する。修正時間が同一の場合には、レーティングの低い艇を上位とする。

## 21. レースの中止

悪天候などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レース前日の 18:00 迄にレース委員会が判断し、その通知を外洋三崎ホームページおよび SI30 の公式掲示板に告知する。

悪天候予想の際は外洋三崎ホームページにて開催の有無を確認することを推奨する。

(JSAF 外洋三崎ホームページ：<http://www.jsaf.or.jp/misaki/>)

## 22. 出艇申告、帰着申告 [DP] [NP]

22-1 出艇申告はチェックインすることで完了される。

22-2 乗員の変更はレース当日の 08:00 までに書面にてレース本部に提出の事（メール可）。

22-3 帰着申告はフィニッシュすることで完了される。

22-4 出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇は必ず艇の責任者が直接レース本部に速やかに連絡すること。原則として第三者への伝言委託は認めない。

連絡が無い場合には、レース委員会から海上保安庁に救助要請をすることがある。

## 23. 運営艇

本部船：「アルカンシェルⅢ」（オセアニス 321）

32feet ヨット、船体色：白色

外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

運営艇：① プリンセスⅡ（油壺ヨットハーバー）

インフレーターブル、船体色：グレー、外洋三崎バースを掲揚する。

② 月光

インフレーターブル、船体色：グレー、外洋三崎バースを掲揚する。

## 24. ごみの処分

RRS47 に従い競技者は、故意にごみを水中に投棄してはならない。この規則は、水上にいる間、常に適用される。

これは、スピナーカーをまとめる毛糸・ゴムバンドなどを含む。

## 25. 賞 表彰の対象は下記の成績の艇とする。

- ・IRC 部門 : ファーストホーム賞  
各クラス 優勝、2位、3位
- ・ORC-C 部門 : ファーストホーム賞  
優勝、2位、3位
- ・オープン部門 : ファーストホーム  
各クラス 優勝、2位、3位

※参加艇数によって変更する場合がある。

## 26. 安全規定

出艇申告し、スタートしない艇またはリタイアした艇はその旨を直ちにレース本部に報告しなければならない。この報告は当該艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

## 27. エンジンの使用

- 27-1 落水者救助、遭難艇（船舶）救助、他の船舶との衝突回避（緊急避難）、離礁その他の緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを推進力として使用することが出来る(RRS42.3(h)参照)。
- 27-2 エンジンを推進力に使用した場合はその状況、使用した目的・時間・場所等について、フィニッシュ後書面にてレース委員会に速やかに報告しなければならない。

## 28. リスク・ステートメント

- 28-1 RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大、COV-19 感染などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 28-2 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。
- 28-3 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。
- 28-4 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。

28-5 オーナーは、船体、スパー、リギン、セイルおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。

28-6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。

28-7 レース委員会は、不相当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

## 29. 肖像権および撮影

本レースに関係する参加者、および参加者の艇や装備に関し撮影された映像またはその製版については、参加者が対価を求めることなく、主催者側の独自の判断で使用できるものとする。

なお、本レースでは、運営艇によるカメラ撮影に加えて、ドローンを利用した撮影を行う場合がある。

## 30. レース本部および公式掲示板

レース本部 : 8月27日(土) 07:00 ~ 17:00

三崎マリン (神奈川県三浦市三崎町小網代 1003 番地 6) 2F

公式掲示 : JSAF 外洋三崎ホームページ : <http://www.jsaf.or.jp/misaki/>

連絡先 : 電話 1 : 090-2341-3140 (8月27日(土) 07:00~18:00)

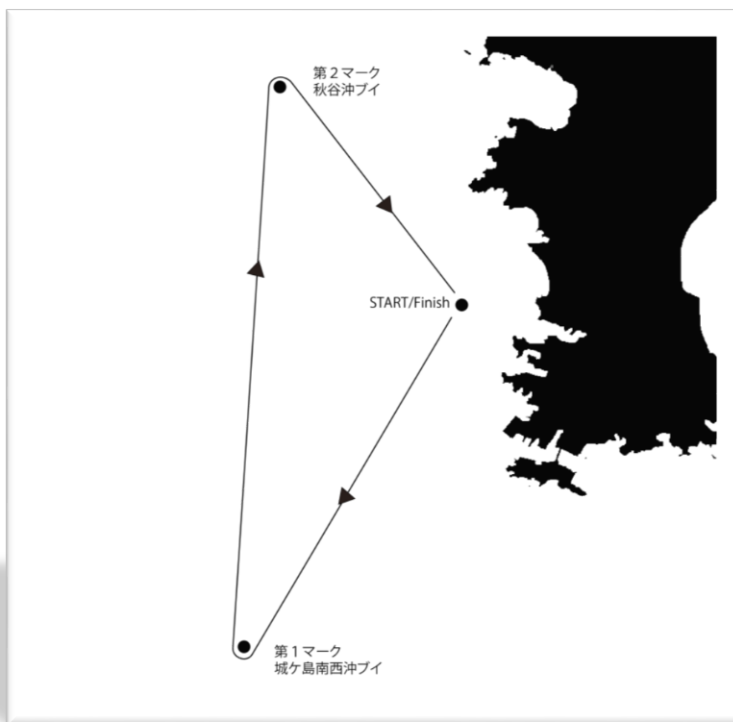
電話 2 : 080-3120-5681 (8月27日(土) 07:00~18:00)

電子メール : [syf2022@misaki-ocean.jp](mailto:syf2022@misaki-ocean.jp)

-以上-

SI 別紙 1

コース図 数字旗 1



コース図 数字旗 2

